

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ADEKA

コード番号 4401 URL <https://www.adeka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 城詰 秀尊

問合せ先責任者 (役職名) 法務・広報部長 (氏名) 菊池 永敏

TEL 03-4455-2803

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	101,600	3.5	10,996	26.6	11,064	13.7	7,245	6.2
2025年3月期第1四半期	98,160	3.8	8,688	17.1	9,731	19.4	6,821	33.2

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 10,227百万円(△19.0%) 2025年3月期第1四半期 12,626百万円(△5.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	71.22	—
2025年3月期第1四半期	66.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	538,868	354,275	55.8
2025年3月期	543,118	351,776	54.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 300,519百万円 2025年3月期 296,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	48.00	—	52.00	100.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	52.00	—	52.00	104.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	207,000	6.1	18,300	0.0	18,300	8.5	12,100	5.3	118.93
通期	441,000	8.3	43,000	4.9	43,000	9.3	26,400	5.5	259.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※1株当たり当期純利益は、最新の期末発行済株式数(2025年6月末。自己株式を除く。)を用いて算出しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	103,768,142株	2025年3月期	103,768,142株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	2,031,545株	2025年3月期	2,032,620株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期1Q	101,736,342株	2025年3月期1Q	102,131,553株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 当社は株式給付信託（J-ESOP）制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日から同年6月30日）における世界経済は、米国の関税政策の影響により先行き不透明な状況が続くなか、主要国での財政政策の見直しや堅調な企業業績を背景に底堅い成長を維持しました。

このような情勢のもとで、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

連結経営成績

(単位：億円)

	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
売上高	1,016	981	34	3.5
化学品	523	564	△40	△7.2
樹脂添加剤	251	277	△26	△9.6
半導体材料	73	86	△12	△14.6
環境材料	198	200	△1	△0.8
食品	205	209	△4	△2.1
ライフサイエンス	271	192	78	41.0
その他	15	14	0	5.0
営業利益	109	86	23	26.6
化学品	63	75	△12	△16.2
樹脂添加剤	25	31	△5	△17.5
半導体材料	14	21	△6	△31.7
環境材料	22	22	0	0.6
食品	11	13	△2	△20.1
ライフサイエンス	32	▲3	36	—
その他	3	1	1	112.8
経常利益	110	97	13	13.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	72	68	4	6.2

注) 金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入。

報告セグメント別の概況は3ページのとおりです。

なお、2025年4月1日付で化学品事業のサブセグメントである「電子材料」を「半導体材料」に改称しました。また、「電子材料」に含めていたエレクトロニクス関連材料は、「環境材料」に含めました。前年同四半期の実績は変更後のセグメント区分に組み替えて比較しています。

(化学品事業) 減収・減益

化学品事業を構成する樹脂添加剤、半導体材料、環境材料の概況は以下のとおりです。

① 樹脂添加剤 減収・減益

家電市況の低迷により、家電筐体向け難燃剤の販売が低調でした。また、自動車部材等に使用されるエンジニアリングプラスチック向け酸化防止剤の販売が米国や中国での需要低迷により低調でした。一方、床材等の住宅内装材向け塩ビ用安定剤の販売は米国を中心に堅調でした。

○主要因

売上高	(低調) 難燃剤 (家電筐体) (低調) 酸化防止剤 (エンジニアリングプラスチック) (低調) 可塑剤 (食品包装材) (堅調) 塩ビ用安定剤 (住宅内装材)
営業利益	(-) 価格、数量、為替 (+) 固定費

② 半導体材料 減収・減益

前期に販売価格を改定した影響や世代交代に伴う市場での一時的な生産調整により、先端DRAM向け高誘電材料の販売が低調でした。一方、データセンター投資や生成AI搭載デバイスの需要拡大により、先端フォトレジスト向け半導体リソグラフィ材料の販売は好調でした。

○主要因

売上高	(低調) 高誘電材料 (先端DRAM) (好調) 半導体リソグラフィ材料 (先端フォトレジスト)
営業利益	(-) 価格、固定費、為替 (+) 数量

③ 環境材料 減収・増益

廉価な海外品の流入により、工業用向けプロピレングリコール類の販売が低調でした。また、市場での大型パネルの生産調整により、ディスプレイ向け光硬化樹脂の販売が低調でした。一方、自動車の省燃費ニーズを捉え、エンジンオイル向け潤滑油添加剤の販売がアジアや米国で好調でした。

○主要因

売上高	(低調) プロピレングリコール類 (工業用途) (低調) 伸線用潤滑剤 (自動車用ゴムタイヤ) (低調) 光硬化樹脂 (ディスプレイ) (好調) 潤滑油添加剤 (自動車用エンジンオイル)
営業利益	(+) 数量、価格 (-) 為替、固定費

(食品事業) 減収・減益

景気悪化の中国で低価格志向が続き、パンや菓子類に使用されるショートニング、マーガリン類の販売が低調でした。また、上原食品工業株式会社を2025年4月1日付で売却した影響により減収となりました。「デリプランツ」シリーズは国内のカフェメニューでの採用が継続・拡大し堅調でした。

○主要因

売上高	(低調) ショートニング、マーガリン類 (製パン、製菓) (堅調) プラントベースフード「デリプランツ」シリーズ (カフェ、製パン等)
営業利益	(-) 数量、固定費 (+) 価格、為替

(ライフサイエンス事業) 増収・増益

農薬は、米価高騰を背景に国内で水稻作付面積が増加したことを受け、主力自社開発品目をはじめとした水稻向け製品の販売が好調でした。海外では、北米での市場開拓に取り組み、果樹向けに殺ダニ剤の販売が好調でした。また、米国の関税引上げの影響などにより販社への荷動きが早まったことなどから、カナダ向けで除草剤の販売が好調でした。

○主要因

売上高	(好調) 日本／除草剤・殺虫剤等（水稻） (好調) 北米／殺ダニ剤（果樹）、除草剤（麦・菜種等） (好調) 欧州／殺虫剤の原体、除草剤（果樹・ばれいしょ）
営業利益	(+) 数量、価格 (－) 固定費、為替

(2) 当四半期の財政状態の概況

連結財政状態

(単位：億円)

	当第1四半期 連結会計期間	前連結会計年度	増減	増減率(%)
資産合計	5,388	5,431	△42	△0.8
負債合計	1,845	1,913	△67	△3.5
純資産合計	3,542	3,517	24	0.7

注) 金額は億円未満を切捨て、増減率は小数点第2位を四捨五入。

○主要因

- (資産合計) 現金及び預金の減少
- (負債合計) 短期借入金の減少
- (純資産合計) 利益剰余金の増加

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	110,117	101,734
受取手形、売掛金及び契約資産	110,057	110,163
有価証券	5,493	8,993
商品及び製品	61,507	65,932
仕掛品	8,427	9,177
原材料及び貯蔵品	43,431	41,145
その他	12,231	11,798
貸倒引当金	△1,375	△1,394
流動資産合計	349,889	347,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,452	38,759
機械装置及び運搬具（純額）	34,504	36,012
土地	29,882	29,943
その他（純額）	23,026	20,055
有形固定資産合計	125,866	124,770
無形固定資産		
技術資産	3,481	4,019
顧客関連資産	2,168	2,127
その他	8,995	9,755
無形固定資産合計	14,645	15,903
投資その他の資産		
投資有価証券	42,803	41,315
その他	9,913	9,328
投資その他の資産合計	52,716	50,643
固定資産合計	193,228	191,317
資産合計	543,118	538,868

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,212	61,875
短期借入金	18,549	15,544
未払法人税等	4,888	3,685
賞与引当金	3,848	1,824
環境対策引当金	809	870
その他の引当金	126	20
その他	33,809	31,840
流動負債合計	122,244	115,661
固定負債		
社債	11,505	11,536
長期借入金	26,142	26,250
退職給付に係る負債	19,361	19,453
環境対策引当金	927	618
その他の引当金	434	415
その他	10,726	10,657
固定負債合計	69,097	68,931
負債合計	191,341	184,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,048	23,048
資本剰余金	20,348	20,486
利益剰余金	228,109	229,944
自己株式	△4,667	△4,667
株主資本合計	266,838	268,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,249	13,037
繰延ヘッジ損益	—	△15
土地再評価差額金	3,240	3,240
為替換算調整勘定	14,010	15,084
退職給付に係る調整累計額	351	360
その他の包括利益累計額合計	29,852	31,708
非支配株主持分	55,085	53,755
純資産合計	351,776	354,275
負債純資産合計	543,118	538,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	98,160	101,600
売上原価	71,779	72,649
売上総利益	26,380	28,950
販売費及び一般管理費	17,691	17,953
営業利益	8,688	10,996
営業外収益		
受取利息	623	559
受取配当金	284	372
持分法による投資利益	202	213
為替差益	537	221
その他	445	512
営業外収益合計	2,092	1,879
営業外費用		
支払利息	937	828
デリバティブ評価損	—	867
その他	112	115
営業外費用合計	1,049	1,811
経常利益	9,731	11,064
特別利益		
固定資産売却益	27	19
関係会社株式売却益	—	323
特別利益合計	27	342
特別損失		
固定資産廃棄損	122	127
投資有価証券評価損	21	—
特別損失合計	144	127
税金等調整前四半期純利益	9,614	11,280
法人税、住民税及び事業税	3,419	3,447
法人税等調整額	△913	△815
法人税等合計	2,506	2,632
四半期純利益	7,108	8,648
非支配株主に帰属する四半期純利益	286	1,402
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,821	7,245

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	7,108	8,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	849
繰延ヘッジ損益	—	△29
為替換算調整勘定	5,495	887
退職給付に係る調整額	△4	0
持分法適用会社に対する持分相当額	52	△129
その他の包括利益合計	5,517	1,579
四半期包括利益	12,626	10,227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,836	9,100
非支配株主に係る四半期包括利益	1,789	1,126

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

一部の子会社については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品 事業	食品 事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	56,455	20,995	19,239	96,689	1,470	98,160	—	98,160
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	36	37	1	75	2,988	3,063	△3,063	—
計	56,491	21,032	19,241	96,765	4,458	101,224	△3,063	98,160
セグメント利益又は損失(△)	7,524	1,381	△361	8,544	74	8,618	70	8,688

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失の調整額70百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品 事業	食品 事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	52,371	20,553	27,132	100,057	1,543	101,600	—	101,600
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	46	17	1	66	3,191	3,257	△3,257	—
計	52,418	20,571	27,133	100,123	4,735	104,858	△3,257	101,600
セグメント利益	6,307	1,103	3,278	10,689	245	10,934	62	10,996

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額62百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次の通りです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	4,385百万円	4,490百万円